

2017年7月:JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
和文総説		
1	著者名	小島 肇
	著者が他機関所属の場合には所属機関名を記載する	
	論文題名	化粧品・医薬部外品の安全性評価のための動物実験代替法開発の現状と課題
	雑誌名, 巻(号), ページ, 年	フレグランスジャーナル, 2017-7, 12-16 (2017)
2	著者名	諫田泰成 ^{*1} , 中村和昭 ^{*2} , 山崎大樹 ^{*1} , 片岡健 ^{*3} , 青井貴之 ^{*4} , 中川誠人 ^{*5} , 藤井万紀子 ^{*6} , 阿久津英憲 ^{*2} , 末盛博文 ^{*7} , 浅香勲 ^{*5} , 中村幸夫 ^{*8} , 小島肇 ^{*1} , 関野祐子 ^{*1} , 古江一楠田美保 ^{*9}
	著者が他機関所属の場合には所属機関名を記載する	^{*1} 国立医薬品食品衛生研究所 ^{*2} 国立成育医療研究センター ^{*3} 岡山理科大学 ^{*4} 神戸大学大学院 ^{*5} 京都大学iPS 細胞研究所 ^{*6} 広島大学大学院 ^{*7} 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 ^{*8} 理化学研究所 ^{*9} 国立医薬基盤健康栄養研究所
	論文題名	「細胞培養における基本原則」の提案
	雑誌名, 巻(号), ページ, 年	Tiss. Cult. Res. Commun. 36, 13-19 (2017)
3	著者名	小島 肇
	著者が他機関所属の場合には所属機関名を記載する	
	論文題名	医薬品食品領域での動物愛護管理法の現在と未来
	雑誌名, 巻(号), ページ, 年	NPO動物実験関係者連絡協議会 第5回シンポジウム 報告書「動物愛護管理法」の過去・現在・未来, 15-20 (2017)

国内学会		
1	発表者名	小島 肇
	演題名	試験法開発におけるGood Cell Culture Practice (GCCP)の重要性
	学会名, 発表年月及び場所	日本組織培養学会第90回大会 (2017.6-7) (岡山)
2	発表者名	平松範子 ^{*1} , 加藤義直 ^{*2} , 佐藤 淳 ^{*2} , 谷川篤宏 ^{*3} , 平野耕治 ^{*3} , 堀口正之 ^{*3} , 小島 肇, 山本直樹 ^{*4}
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	^{*1} 藤田保健衛生大学大学院 ^{*2} 日本メナード化粧品株式会社 ^{*3} 藤田保健衛生大学医学部眼科学 ^{*4} 藤田保健衛生大学分子生物学
	演題名	不死化ヒト角膜上皮細胞株 (iHCE-NY1) を用いて作製した三次元角膜再構築モデルの眼刺激性試験代替法に関する研究
	学会名, 発表年月及び場所	日本組織培養学会第90回大会 (2017.6-7) (岡山)
3	発表者名	小島 肇
	演題名	動物実験代替法の国内外の動向
	学会名, 発表年月及び場所	皮膚基礎研究クラスターフォーラム (2017.7) (東京)
4	発表者名	小島 肇
	演題名	動物実験代替法の国内外の動向
	学会名, 発表年月及び場所	ライフサイエンス法令セミナー (第3回) (2017.7) (京都)
国際学会		
1	発表者名	Kojima H
	演題名	AOPs are development by Japan in the OECD process
	学会名, 発表年月及び場所	2017 The 3rd International Conference on Toxicity Testing Alternative & Traslational Toxicology (2017.7) (Nanjing, China)

レギュラトリーサイエンス学会

1	参加者名	小島 肇
	会議名(英文の場合は和訳も記載)	10TH MEETING OF THE EXTENDED ADVISORY GROUP ON MOLECULAR SCREENING AND TOXICOGENOMICS (EAGMST : 第10回分子スクリーニングおよびトキシコゲノミックス拡大支援会議)
	開催場所, 年月	パリ(フランス) (2017.6)
	会議内容(150字以内)	日本から提案していた免疫抑制のAOPに関して, EAGMST のメンバーによるreview結果が報告された. このAOPは差し戻しとなり, 改訂がreviewerから要求された.